

議会だより

清水町

2014年(平成26年)8月

No. 138

■発行 北海道清水町議会
■編集 清水町議会運営委員会
〒089-0192 上川郡清水町南4条2丁目
☎62-3317 FAX62-5160

一般会計補正予算を可決

一転、第6回臨時会で花火大会への補助金を減額補正

第5回定例会は6月17日に開会、24日までの8日間を会期として開かれました。町と教育委員会から、行政報告2件が示されたほか、8会計の補正予算、物品の取得(小学校コンピューター機器一式)1件、人事案件等が提案され、審議の結果、全て原案のとおり可決しました。

例会初日の17日に、
一般会計補正予算
が町より提案されました。

提案された補正予算
の中では、清水町花火大
会2014実行委員会
への補助金として100万
円が計上されたことに
質疑が集中しました。

質疑の主な内容は、要
望書に昨年の収支決算
が添付されていない、他
団体の補助金が削減さ
れている中で新たに支
出するのはいかがか、清
水小学校を会場とする
ことに問題はないのか、
昨年は全額寄附金で賄
われたのに今年はなぜ、
金で賄われた事業であ
るものでした。

町からは、昨年は寄附
金で賄われた事業であ
るものでした。

提案された補正予算
の中では、清水町花火大
会2014実行委員会
への補助金として100万
円が計上されたことに
質疑が集中しました。
質疑の主な内容は、要
望書に昨年の収支決算
が添付されていない、他
団体の補助金が削減さ
れている中で新たに支
出るのはいかがか、清
水小学校を会場とする
ことに問題はないのか、
昨年は全額寄附金で賄
われたのに今年はなぜ、
金で賄われた事業であ
るものでした。

今年はなぜ補助金が
必要なのかとの質疑に
対しては、継続して行い
たいという考え方があ
り、このような経
済状況の中でも確実に
実行したいとの思いか
ら要望があがつたと
ことでした。

今年はなぜ補助金が
必要なのかとの質疑に
対しては、継続して行い
たいという考え方があ
り、このような経
済状況の中でも確実に
実行したいとの思いか
ら要望があがつたと
ことでした。

り収支決算書の添付を
求めなかつた、町民に広
く喜んでいただけの事
業である、会場である小
学校には内諾を受けて
いる、遠くへ花火を見に
行けない方にも楽しん
でもらえる、などの答弁
がありました。

算の採決では賛成6・反
対5で原案のとおり可
決しました。
しかし、次に開かれた
7月30日の第6回臨時
会では、寄附金が予想以
上に集まり、補助金がな
くとも花火大会の開催
が可能になったことか
ら、補助金の要望書を取
り下げる申し出が実行
され、4名の議員が
質疑を行い、一般会計補
正予算を可決しました。

第5回定例会 一般会計補正予算に対する討論

原案に賛成

●中島里司 議員

花火大会への補助
金が妥当か、妥当でな
いかは、それぞれの考
えがあり、何が正し
いかはわからない。

ただ、他の町で花火
大会をやつしていくも
見に行けない人たち
の喜び、楽しみ、そ
ういう場を、金額は別と
して、町民の有志が
集つて実行委員会を作
り、開催することに
対し、敬意を表したい。
ぜひ成功させてい
ただきたく賛成する。

原案に反対

●角川徳寿 議員

当初、事業計画に
なかつたものが急に
補正予算として出て
きたことや、昨年度、
実行委員会により実
施されていった花火が
今年度は自分たちの
力で実施できること
と、また、行政改革に
よりかなり多くの團
体が補助金などを削
減された経緯がある
ことから、補助金に
対しては慎重に対処
する必要があると考
え反対する。

議論では3名の議員
が登壇し、賛成又は反対
の立場で自己の意見を
表明しました。

賛否の公表

○:賛成 ×:反対

議員	第5回定例会での一般会計補正予算の賛否
高橋	○
角川	×
佐藤	○
木村	×
山岸	○
原	×
西山	×
中島	○
奥秋	×
安田	○
口田	○
結果	賛成6、反対5で可決

会では、寄附金が予想以上に集まり、補助金がなくとも花火大会の開催が可能になったことから、補助金の要望書を取り下げる申し出が実行され、4名の議員が質疑を行い、一般会計補正予算を可決しました。

第5回定例会

委員会からあつたことを理由に、全額の減額補正が提案されました。これに対し4名の議員が質疑を行い、一般会計補正予算を可決しました。